

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(1) ビジネス拡大支援

(1-1) 中国地域ニュービジネス大賞表彰制度事業

(1-1-1) 第25回中国地域ニュービジネス大賞

中国地域のニュービジネスの健全な育成と振興を図るため、独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者等に「第25回中国地域ニュービジネス大賞」等の表彰を実施しました。

名 称	企業名	表彰事業
大 賞 (※1)	(株) クレオフーガ (岡山県岡山市)	音素材マーケットプレイス「オーディオストック」
優秀賞 (※2)	(株) 英田エンジニアリング (岡山県美作市)	利用者・管理者に優しい次世代型コインパーキング
	(有) 柏原工業 (広島県尾道市)	3Dレーザースキャナを用いた船舶改修工事と技術応用
	モルタルマジック (株) (鳥取県鳥取市)	粉体形成技術によるニッチ市場への挑戦
特別賞 (※3)	(株) エッグ (鳥取県米子市)	業務を大幅に効率化するふるさと納税システムの事業化
	(株) タウンクリエーション (広島県広島市)	BUS it インバウンド対応バスロケーションシステム
	(株) ニシウラ (鳥取県鳥取市)	管理委託方式紙おむつコンサルティング事業
	(株) 藤崎商会 (広島県広島市)	舗装工事の生産性を6～9倍に高めるFKメッシュパネル工法
	(株) まごやさい (広島県安芸高田市)	小規模農家連携による直売型狭域野菜流通事業
	ラクサス・テクノロジーズ (株) (広島県広島市)	ラクサス (ブランドバッグのシェアリングサービス)

※1) 中国地域ニュービジネス大賞 (中国経済産業局長賞、中国地域ニュービジネス協議会会長賞)

※2) 中国地域ニュービジネス優秀賞 (中国地域ニュービジネス協議会会長賞)

※3) 中国地域ニュービジネス特別賞 (中国地域ニュービジネス協議会会長賞)



写真左から、「受賞者」、「大賞表彰」、「受賞者記念撮影」

受賞企業（10社）につきましては、上位団体である（公社）日本ニュービジネス協議会連合会（JNB）主催の「第12回ニッポン新事業創出大賞」へ推薦し、次の3社が入選されました。

名 称	企業名
最優秀賞 『アントレプレナー部門』	ラクサス・テクノロジーズ（株） (広島県広島市)
経済産業大臣賞/日本ニュービジネス協議会連合会会長賞	
優秀賞 『アントレプレナー部門』	（株）クレオフーガ (岡山県岡山市)
中小企業庁長官賞/日本ニュービジネス協議会連合会会長賞	
特別賞 『アントレプレナー部門』	（株）英田エンジニアリング (岡山県美作市)
日本ニュービジネス協議会連合会会長賞	

（1-1-2）第26回中国地域ニュービジネス大賞

平成29年11月1日から募集を開始し、32件のご応募をいただきました。

応募案件につきましては、1次審査（書類審査：平成30年2月5日）および2次審査（プレゼンテーション：3月6日、7日・現地視察：3月13日～19日）を実施し、今後、審査会を経て表彰委員会で入賞事業を決定します。

本表彰制度の特筆すべき点は、審査会委員長をはじめ委員が現地を訪問し、直に応募事業の内容を確認することで、より高い精度の審査につながっているものと自負しております。

また、落選企業に対しては、昨年から審査委員からのコメントをフィードバックするとともに、推薦機関と連携した支援体制の構築などにより、応募事業主様の事業発展の一助となるよう取り組んでいます。

（1-2）新N B研究会

現在の事業の体力強化を図り、さらに新たなチャレンジを行っていくため、共通の問題意識を持つ会員が集まり、自分たちの問題解決に向けて検討を行う自主運営組織としての新ニュービジネス研究会を本年度も継続しました。今後も会員企業の皆様の発意に基づき、支援機関とも協力し研究会を立ち上げていきたいと考えております。

（1-2-1）「クラウドファンディング研究会」創設

平成30年3月16日（金）「第1回クラウドファンディング研究会」を開催しました。一回目は、講師に一般財団法人ひろぎん経済研究所課長 冬城 郁昌 氏を招き、「クラウドファンディングの概要」のテーマで講演をして頂きました。来年度は、新しい年度方針を踏まえて企画・検討し、会員様にメリットのある活動を目指して継続的に取り組んでいく予定です。

(1-2-2) 「色彩を活用した事業展開」

鳥取県の会員企業である日本ランドメタル(株)様グループ会社のブリリアントアソシエイツ(株)様と引き続き標記研究会を継続いたしました。同社は鮮やかなピンク色を商品に活かし、ピンク醤油、ピンクカレーなど商品展開されていますが、パッケージデザインとの相乗効果など、色彩効果を最大限に引き出すための視点、具体的手段系などを検討されています。次年度は客観的効果検証のための指標つくりなどにも取り組みたいと考えております。

(2) 経営改革支援

(2-1) 中小企業支援事業

中小企業庁の委託により運営されている、全国約380万社の中小企業・小規模事業者とその支援を行う支援機関や専門家のためのインターネットサービスである「ミラサポ」を利用して、WEB上のビジネス交流やビジネスツールの利用、補助金の電子申請等に加え、専門家派遣（年間3回まで無料）による支援を実施しました。

本年度に関しましては、平成30年2月まででミラサポ事業の新規専門家派遣の受付を終了しました。専門家派遣を3回無料でできるとはいえ、企業様の課題を3回ですべて解決することは難しいものがほとんどです。そこで、弊協議会と連携している（独法）中小機構中国本部様と定期的な情報交換会を実施し、企業様の了解を得て、3回の訪問で解決しきれない相談案件を中小機構様に引き継ぐ体制を構築しました（案件によっては中小機構様以外の連携機関に引き継いでおります）。

相談内容の例を紹介しますと、プライバシーマーク取得後のフォロー、女性の起業相談、課題発見のヒアリングと課題解決の方向づけ、ECサイトの結果分析とアドバイス、製品の取扱説明書作成に関するアドバイスなどなど多岐に渡るものでした。ミラサポ活動の結果、現在審査中の第26回中国地域ニュービジネス大賞に応募を頂いている企業様もあります。

ミラサポ活動を通して中小企業様の課題解決を推進し、ひいては中国地域ニュービジネス大賞に応募頂ける企業を発掘し、弊協議会活動に関連する企業様のすそ野を拡大させ、弊協議会の活動が少しでも中国地域経済の発展に役立てばと考えております。

【各県での参加プラットフォーム】

- ・鳥取県：鳥取県中小企業支援プラットフォーム（代表機関 鳥取県商工会連合会）
- ・島根県：島根県中小企業支援プラットフォーム（代表機関（公財）しまね産業振興財団）
- ・岡山県：岡山県中小企業支援プラットフォーム（代表機関（公財）岡山県産業振興財団）
- ・広島県：ひろしま中小企業支援ネット（代表機関（公財）ひろしま産業振興機構）
- ・山口県：山口県経営支援プラットフォーム（代表機関（公財）やまぐち産業振興財団）

【ミラサポの実績】

プラットホーム	主な実績
ひろしま中小企業支援ネット	<ul style="list-style-type: none">・対応企業件数：18社・訪問回数：延べ36回
岡山県中小企業支援プラットフォーム	<ul style="list-style-type: none">・対応企業件数：3社・訪問回数：延べ9回

(2-2) 平成29年度地域中小企業・小規模事業者人材確保等支援事業

(2-2-1) 魅力発信プロジェクト（魅力発信グランプリ）

① 目的

景気動向が回復傾向にある中で大企業の新卒採用人数が増加し、少子化の影響もあり、中小企業の新卒採用は年々厳しくなっております。しかし、一方では地元志向の学生も一定数存在し、優良な地域中小企業を探している学生がいる、という情報を大学から聞いています。大企業に負けない素晴らしい技術を保有していたり、働く環境が整っていたりなど、さまざまな魅力を持つ地域中小企業の情報が的確に地元志向の学生に伝われば、WINWINの雇用が生まれるのではないか。

私たちは、今、多くの企業が抱えている「新卒学生が必要人数採用できない」という課題を解決するためには、企業自らが自社の魅力を地元の学生に伝えることを「戦略」として考えなければならないと考えました。中小企業の多くが採用活動の資料として使用している「会社案内」では、学生が知りたい情報が伝わらず、合同説明会で会社案内を手に取ろうという気持ちにはなりません。

現状を開拓するために、就職活動を控えた学生と彼らに年齢の近い企業の若手社員が対等な立場でディスカッションし、学生に伝えるべきことは何なのか、どう伝えれば伝わるのかを追求しながら「採用パンフレット」を完成させることが必要だと考え、2017年度から「魅力発信プロジェクト」をスタートさせました。これは、学生と若手社員がチームを組み、学生の心に刺さる「採用パンフレット」を半年間かけて作成する、小規模ですが本格的なプロジェクト活動です。

2年目となる今年度は、プログラム内容をステップアップし、「採用パンフレット」の完成だけではなく、学生と若手社員が「社会人基礎力」を身につけ、それぞれの立場で成長することを目指しました。

② プロジェクトの価値

<採用>

- ・ 学生の就職活動時、学生が企業に求めていることがわかる
- ・ 自社が伝えたいことと学生が知りたいことのギャップを知り、学生へのPR方法を再考できる
- ・ 学生の興味関心を知り、就活生がエントリーしたくなる「採用パンフレット」を作成できる
- ・ 大学のキャリアセンターにパンフレットを設置できる

<若手社員の成長>

- ・ 自社の魅力・事業内容を知る機会になる（パンフレット作成課程や学生との話し合いを通じ）
- ・ プレゼンテーション能力の向上（魅力発信グランプリ）
- ・ コミュニケーション能力の向上（プロジェクトを通して学生とのやりとり、チーム牽引力）
- ・ モチベーションがアップする（学生との人間関係、信頼関係の構築）
- ・ 若手社員をリクルーターとして成長させることができる

（若手社員は学生にとって身近な存在であるため、採用活動に効果的）

<学生の成長>

- ・ プロジェクトを通して社会人基礎力が身につく
- ・ 年齢や役職、立場の違う社会人とコミュニケーション力が身につく
- ・ 企業の採用活動やプロジェクトに学生としての力を反映させることができる

- ・地元の優良企業を知り、企業の見方が養われ、就職活動時の視野を広げることができる

③ 全体スケジュール



◇参加企業 12 社／若手社員計 40 名

島根：・(株)守谷刃物研究所

岡山：・(株)建美創社

広島：・旭調温工業(株) ・賀茂鶴酒造(株) ・(株)キーレックス ・三島食品(株)
 ・(株)エブリイ ・(株)フォノグラム ・リライアンス・セキュリティー(株)
 ・(株)メンテックワールド

山口：・高山産業(株) ・(株)フジマ

◇参加大学 40 名 ()内は学生数

・島根大学 (3)	・就実大学 (3)	・県立広島大学 (4)	・広島工業大学 (4)
・広島大学 (11)	・広島市立大学 (3)	・安田女子大学 (3)	・福山市立大学 (3)
・山口大学 (3)	・山口県立大学 (3)		

◇スケジュール

- ・4月 各大学を訪問し、「魅力発信プロジェクト」の内容や目的を説明。参加学生を募る
- ・5月 各企業を訪問し、「魅力発信プロジェクト」の内容や目的を説明。参加企業を募る
各大学にて学生の応募者とチームごとに面談
- ・6月 参加志望動機と面談結果により学生を選考（応募件数 69 名 採用 40 名 12 チーム）
参加企業とのマッチング決定
企業研究スタート（学生）
- ・6月～9月 セミナー実施（中国 5 県述べ参加人数）
 - ① マナー研修+企業研究の進め方（参加学生のみ） (33名)
 - ② プロジェクトマネジメント研修（参加企業の若手社員のみ） (33名)
 - ③ 聴く力（学生・若手社員・一般参加） (151名)
 - ④ 伝える力（学生・若手社員・一般参加） (184名)
- ・9月～10月 専門家の訪問
 - ① 中小企業診断士：9月に1回
企業の強みや魅力、同業他社との差別化の有無などについてアドバイス
 - ② コピーライター：10月に1回
成果物のキャッチコピー、プレゼンテーション内容のアドバイス
- ・11月 採用パンフレット・プレゼンテーション資料完成

社内プレゼンテーション発表会

- ・12月 魅力発信グランプリ参加
- ・12月～2月末 採用パンフレット完成、印刷、中国N B Cに60部納品
- ・3月 各社のパンフレットをファイリングして、中国5県の大学に配布・設置

④ 魅力発信グランプリ（「魅力発信プロジェクト」のプレゼンバトル）

(場 所) : 12月2日(土) 11:00～18:00 県立広島大学大講義室

(目 的) : 新卒採用に悩む企業の経営者や採用担当者に、次年度の採用パンフレットの作成や採用活動のヒントとしていただくため、学生の心に響かせるための裏付けや工夫をプレゼンテーション形式で発表

(発表方法) : 自社のパンフレットの説明ではなく、パンフレットの完成に至ったプロセスや根拠を発表する。これにより、学生は企業の何に興味を持っているか、どんな表現だとパンフレットを手に取ってみようと思うのかなど、学生の興味や関心を知ることができる。

(参加人数) :

- ・学生40名、若手社員40名、参加企業関係者45名、一般参加者130名 合計 255名

(審査員) :

《採用のプロ》

- ・経済産業省中国経済産業局 産業人材政策課長 阿比留 彩子 氏
- ・(株)リクルートキャリア 新卒メディア事業本部 小池 拓人 氏

《表現のプロ》

- ・(株)中国四国博報堂 マーケットデザイン室長 野田 幸男 氏
- ・(株)TSS プロダクション 営業部長 川口 修治 氏

受賞結果一覧

最優秀賞	(株)エブリイ	福山市立大学	EVERY-WIN Project
優秀賞	(株)フォノグラム	広島市立大学	FUN FAN PROJECT
敢闘賞	高山産業(株)	山口県立大学	No Takayama, No Life
敢闘賞	三島食品(株)	県立広島大学	縁とゆかりプロジェクト
敢闘賞	(株)メンテックワールド	広島大学	世界に翔け！Take Steps MenTec
プロジェクトマネジメント賞	(株)エブリイ	福山市立大学	EVERY-WIN Project

学生の視点

- ・「何を作っているか」「やっているか」より世の中にどう貢献しているか
- ・そこで働く人にフォーカスをあて、何をやりがいに感じてどんな思いで仕事をしているのか
- ・その会社に入ってから、自己成長やスキルアップができるか（研修などの支援制度）
- ・自分の働く部署の人たちの一日のスケジュールはどうなっているのか

- ・福利厚生（社員旅行や飲み会ではなく、休日、残業など、ライフが充実できるかどうか）



写真左から、「広島県立大学学長開会挨拶」、「魅力発信グランプリ会場の様子」

※「魅力発信プロジェクト」は今年度、第8回経済産業省キャリア教育アワードにて中小企業の部で経済産業大臣賞（最優秀賞）を受賞

＜審査委員からの評価コメント＞

- 中小企業の採用難の状況の打破と、参加学生が社会人を体験しながら社会人基礎力の向上を狙った点は斬新であり、企業・学生の双方のメリットが明確で、継続性と普及性の富んだプログラムとなっている。
- 学生が中小企業の一員として若手社員と協働で採用パンフレットの完成を目指すという活動がユニーク。
- 取組をとおして、企画力、発信力、人間関係等の定着を図ることで、社会人基礎力をはじめ就業に必要最低限の基盤を培うことができ、プロジェクト化により、活動への責務や責任感等が高められている。
- プロの講師が関与することで、学生が、聞く力や伝える力、社会人基礎力、より広い視野を持って企業を見る目を養うことができるという、通常のインターンシップにとどまらない取り組みが評価できる。

(2-2-2) 人材確保補助事業（採用力 UP セミナー）

① 『類人猿分類を活用した面接力アップセミナー』（岡山理科大学とコラボ企画）

類人猿分類とは、精神科医・名越康文氏によって監修された実践的な性格分類手法です。企業内でのコミュニケーションを円滑にするツールとして活用することで、上司と部下の関係構築や若手社員の定着に役立つとされており、また、採用面接官の好き嫌いに左右されない客観的な採用を行なうことができる手法とも言われております。

日 時：平成 29 年 6 月 19 日（月）15:00～18:00

講 師：株式会社 YPY エデュケーション チーフマネージャー 土居 祐介氏

会 場：岡山理科大学 C1号館C0154 講義室

参 加 者：岡山理科大学 学生 38 名、企業の採用担当者 11 名

※満足度 100%（アンケート結果）

② 『大手の採用に負けない！中小企業のための採用戦略セミナー』

欲しい人材が獲得できないという現状を脱却するきっかけとなるセミナーを企画・実施しました。自社の採用戦略を見直し、いまどきの若者に合った採用方法を理解し、各社の「課題」と向き合うことを目的としました。講師には、企業、学生、両者の立場を理解しておられる松本氏にお願いし、いまどきの若者の傾向と、採用のために企業の取るべき対策をお話しいだきました。

講 師：松本 治 氏

(株)マイナビにて19年間、人材採用など就職支援に携わり、現在は独立し、中小企業の採用コンサルタントや大学でのキャリア教育支援を行なっておられます。

※満足度100%（アンケート結果）

地域	月日	時間	場所	人数	社数
島根	1月26日(金)	13:00～16:00	テクノアークしまね	9	9
鳥取	1月19日(金)	13:00～16:00	鳥取県生涯学習センター	9	7
岡山	2月19日(月)	13:00～16:00	岡山国際交流センター	23	21
広島	2月6日(火)	13:00～16:00	リコージャパン広島 会議室	27	23
山口	1月30日(火)	13:00～16:00	山口グランドホテル	10	9
合 計				78	69

③『社長と語ろう！』～学生が、地域中小企業に興味を持つきっかけづくり～

魅力発信事業から発生したスピノフ企画で、学生には「地域企業の魅力を知ってもらうこと」と、企業には「イマドキの学生の興味関心を知ってもらうこと」を目的としています。社長自身の魅力を学生に知ってもらうのはもちろんの事、中小企業の長所の一つとして、社長と社員との距離が近く、社長に直接自分の考えを伝える機会がある点も学生に知ってほしいと考え実施しました。

◇参加者

福山市立大学 都市経営学科 16名／キャリアセンター長 渡邊 先生

参加企業 5社 5名

- ・(株)アスコンの中原社長
- ・(株)エブリイの岡崎社長
- ・(有)三愛機工の上中谷社長
- ・(株)タテイシ広美社の立石社長
- ・(株)マイナス600ミリボルトの松岡社長

◇概要

学生3名、社長1名のグループを5つ作り、25分間で企業の説明とフリートークを5回繰り返し、参加学生全員が5名の社長と直接ディスカッションし、社長の人柄や企業を知る機会を提供しました。

学生は、社長から事業内容、経営や社員への想いを聞いたり、就活アドバイスをいたしたりしたことで、今後の就活の参考になりました。また今回の活動を通して、地域の企業にも学生の興味が湧いたようでした。

※企業・学生とも満足度100%（アンケート結果）



写真左から、「社長と語ろう！会場の様子」、「個別グループの話し合いの様子」

(2-3) 平成29年度女性活躍推進基盤整備委託事業 女性起業家等支援ネットワーク構築事業

「平成29年度女性活躍推進基盤整備委託事業 女性起業家等支援ネットワーク構築事業」を中国地域の代表機関として受託し、昨年度に引き続き中国地域の自治体、創業支援機関や金融機関、民間企業等で構成される『起業女子応援ナビ@中国地域ネットワーク』として活動し、ネットワーク参加に協力頂いた機関・団体と連携して「女性の起業」を支援しました。

平成29年度は、中国5県を対象に、起業無関心層・潜在ニーズ層（ステージ0，1）をターゲットに施策を展開し、女性起業家発掘の裾野拡大を目指しました。また、起業準備段階から起業後の方を対象にセミナー、相談会、ビジネスプランコンテスト開催等を通じて、より幅広い層にもアプローチしました。

(2-3-1) 構成機関との連携（※H30年2月末時点30機関）

連絡会議、メンター育成研修を通して各構成機関の間で“相互に顔が見える関係”を構築し、女性起業家のステップアップのための連携をしやすくしました。

【構成機関一覧 30機関】

鳥取県	鳥取県商工会連合会	公益財団法人鳥取県産業振興機構	島根県	公益財団法人しまね産業振興財団
島根県商工会連合会	島根県信用保証協会	株式会社Woman's	岡山県	公益財団法人岡山県産業振興財団
真庭市	NPO法人輝くママ支援ネットワークばらママ	GirlPowerOkayama	森脇史子行政書士事務所	千道（株）
広島県	公益財団法人ひろしま産業振興機構	（株）ソアラサービス	（株）Hint	特定非営利活動法人チルドリンひろしま
行政書士法人Asumia	（株）ハーストリープラス	おかげこドットコム合同会社	（株）広島リビング新聞社	山口県
公益財団法人やまぐち産業振興財団	独立行政法人中小企業基盤整備機構中国本部	（株）日本政策金融公庫	（株）日本政策投資銀行	経済産業省中国経済産業局

(2-3-2) 連絡会議兼メンター育成研修の開催

①「第1回連絡会議&メンター育成研修【広島】6/30開催（参加者：連絡会議27名/研修29名）

第1回連絡会議では、本事業説明を改めて行うと共に、ネットワーク内における女性起業家支援状況を共有しました。また、メンター育成研修では、行政書士法人Asumia 代表 崎田和信様に「シングルマザーの起業支援 現状と今後について」、株式会社petapeta 代表取締役 やまさきさちえ様に「なんちゃって起業女子脱却に必要な視点と、その支援策について」という題材でそれぞれお話をいただき、女性起業家の抱える問題点等の情報を全体で共有しました。

②「第2回連絡会議&メンター育成研修【広島】12/11開催（参加者：連絡会議28名/研修28名）

第2回連絡会議では、本ネットワーク活動の進捗状況を共有すると共にネットワーク内における連携支援事例を紹介しました。ステージ0，1層の支援についてはしっかりと時間をかけてサポートし法人化に向けての掘り起こしを行うことを説明しました。メンター育成研修では、構成機関のNPO法人チルドリンひろしまの湊りえ様に「起業のたねを育てるポイント」、しまね産業振興財団様が支援した㈱オレンジハーモニー大森由紀様に「島根にIターンして夫婦で夢を叶えた下着デザイナーのお話」という題材でお話ししていただき、起業家に対しての支援の仕方、支援していただき

た内容について研修しました。

(2-3-3) イベントの実施

①「ママフェスタ2017in広島」に相談ブース出店【広島】11/18開催

『ママフェスタ2017in広島』に「起業相談ブース」を出展し、おかげいこドットコム合同会社湊容子氏、中国経済産業局、起業女子ナビ事務局で相談対応を実施しました。相談を待っていただくほどの大盛況となり、本ネットワークのチラシを配布するなど広報活動、構成機関の紹介を行いました。

・カウンセリング実施：12名（起業している：5名/起業に興味がある：7名）

②「キラリ女子フェス」（広島リビング新聞社とのコラボイベント）【広島】11/28開催

専業主婦層への起業意識啓発のために株式会社ひろしまリビング新聞社様と共に、「キラリ女子フェス」を実施しました。特技を活かして活躍する主婦「SHUFU-1ミセス」達がブースを出店し、おかげいこドットコム湊容子氏と女性起業家によるセミナーを開催したり、起業女子応援ナビによる起業相談を行なったり、様々な起業のカタチを広く一般の方々に知ってもらいました。

・来場者数：約200名

・アンケート回収枚数120枚

（起業している：23名/起業したい、準備中：15名/起業に興味がある：26名）

③「女性のための起業座談会」を定期開催【広島】 7月～3月 計8回開催

「潜在層～起業準備者を対象に、起業座談会を開催しました。各回定員6名の少人数制で実施し、キャンセル待ちが出るほどニーズがありました。マザーズコーチング講師の高田あや氏が進行役となり自由に進める形式で行いました。自分の悩みをしっかり相談してもらい、さらなるステップアップのために、必要に応じて構成機関に繋いでおります。（参加者：6名×8回=48名）

④「自分らしい働き方を目指す女性のためのセミナー@浜田」 12/1開催

昨年は松江市で開催しましたが、より多くの地域で知つてもらうため、島根県浜田市で開催しました。株式会社Woman's宮崎結花氏、おかげいこドットコムの湊容子氏を講師として、本事業を中国5県で実施していることを最大限に活かし、広島の成功事例を紹介しました。その後の交流会で、県を超えた繋がりを強めて頂きました。（参加者：8名）

⑤「自分らしく働くための女性限定セミナー@米子」 12/8開催

地域のインフルエンサーでもある永東まさみ氏にも協力して頂きました。おかげいこドットコムの湊氏とこれから何かしたい、起業したいという方へのアプローチに成功しました。起業家同士の繋がりも強化できました。（参加者：21名）

⑥「自分らしい『働き方』探しの座談会in山口」 12/12開催

ステージ0、1層をターゲットとした座談会を開催しました。山口大学の鍋山祥子教授と株式会社分数大好き日高優子氏を講師として、自分の働き方を見直すことで、起業の可能性やワークライフバランスを整えるポイントを学んでいただきました。（参加者：3名）

⑦「女性のためのお気軽相談会(お金編)」12/13開催

(株)日本政策金融公庫様と共に、起業準備者を対象にお金の相談会を開催しました。お金がネックになって前に進めていない人が多い現状と、お金の話を気軽に相談できる場所が不足していることから開催しました。(参加者:2名)

⑧「お気軽相談会&交流会 in OKAYAMA」12/14開催

岡山、広島両県の先輩起業家（輝くママ支援ネットワークぱらママ 藤井弥生氏、GirlPowerOkayama 森脇史子氏、おけいこドットコム 渕 容子氏の三方に起業の悩みや働き方を直接相談してもらい、起業家同士の交流を深めて頂きました。(参加者:4名)

(2-3-4) 「中国地域女性ビジネスプランコンテスト SOERU」

中国地域で初となる、中国5県を対象とした女性のビジネスプランコンテストを開催しました。女性経営者（事業開始5年以内）による既にスタートしている事業、もしくは女性創業予定者によるこれからスタートしようとする事業計画を対象としました。中国経済産業局、(株)日本政策投資銀行、(一社)中国経済連合会、(一社)中国地域ニュービジネス協議会の4団体で共催しました。

① 応募者募集

中国5県より63件の応募がありました(H29年10月31日で締め切り)。書類審査、現地訪問審査、審査員審査を経てファイナリスト8名を決定しました。中国NBCのホームページに特別サイトを作成し、コンテストの概要説明、エントリーの詳細、発表会参加募集などを行いました。

- ・「中国地域女性ビジネスプランコンテスト SOERU」
⇒ <http://soeru.cnbc.or.jp/>

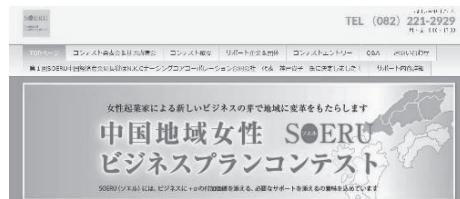


図 「SOERUホームページ」

② ファイナリスト発表会及び表彰式

日時：平成30年1月25日（木）13:00～19:15

場所：TKPガーデンシティ PREMIUM広島駅前

起業女子応援ナビの活動に参加した人たちにも広く呼びかけ、ファイナリストの発表会を見ていただき、ユニークな視点や事業化への工夫を知ることで自らの事業に対して新たな気づきにしてもらいました。交流会では起業家同士、企業の方とマッチングを計りました。

発表会参加者：約200名 交流会参加者：約100名

◆中国経済産業局長賞

- ・N.K.Cナーシングコアボレーション合同会社 代表 神戸貴子 氏（鳥取県）

◆優秀賞

- ・株式会社広島元氣いっぱいプロジェクト 代表取締役 岩崎浩美 氏（広島県）
- ・れんた～と尾道 代表 本谷美穂 氏（広島県）



写真 「SOERU発表会の様子」

◆特別賞

- ・学習教室キッズウィル 渡辺千恵 氏 (広島県)
- ・三十八花堂 保田麻月子 氏 (広島県)
- ・niko* 竹本裕子 氏 (広島県)

◆ワークライフシナジー賞

- ・Sweet Time 石川さおり 氏 (広島県)
- ・アロマクラール 森かおり 氏 (広島県)



写真 「ファイナリスト8名」

③ サポーター企業(団体)

サポーターを引き受けた38社様には、ファイナリスト、受賞者を始め、今回コンテストにエントリーした女性起業家への支援を様々な形でご提供頂いております。

(株)青山キャピタル	青山商事(株)	あさひ製菓(株)
(株)アデリー	石見空港ターミナルビル(株)	石見交通(株)
(株)イズミ	国立大学法人岡山大学	おかげこドットコム (同)
オタフクソース(株)	一畑電気鉄道(株) (一畑グループ)	(株)山陰合同銀行
女性創業応援やまぐち(株)	田中食品(株)	(株)ジュンテンドー
(株)中国銀行	JICA	(株)サタケ
(株)鳥取銀行	(株)ストライプインターナショナル	三島食品(株)
(株)システム工房エム デリカウイング(株)	(株)ソアラサービス 新日本有限責任監査法人	Girl Power Okayama (独)中小企業基盤整備機構
広島ガス(株)	(株)広島銀行	(株)広島リビング新聞社
国立大学法人広島大学	(株)広島三越	ブリリアントアソシエイツ(株)
マツダ(株)	(株)マルシン広告社	(株)山口銀行
国立大学法人山口大学	両備ホールディングス(株)	

〈支援事例〉

- ・コワーキングスペース1年間無償提供
- ・事業展開のサポート
- ・商品へのアドバイス等
- ・自社販売商品の提供

(2-3-5) ホームページ、facebookでの情報発信

「起業女子応援ナビ」のホームページでは、イベントの告知や報告などを掲載し、facebookでもホームページと連動してイベントを中心に情報を発信しました。

投稿記事も毎回250～500の閲覧数を保っています。

(1000を超える場合もありました)

「SOERU」のトピックスもfacebookで発信中。サポート企業様との情報も掲載しています。



図 「企業女子応援ナビのロゴ」

【ホームページ】

<http://woman.cnbc.or.jp/>

【facebook】

<https://www.facebook.com/kigyojyoshi/>



図 「企業女子応援ナビ ホームページ」

(2-4) 情報発信活動

会員のみなさまに、価値ある情報を確実にお届けできるよう、事務局からの情報発信方法の改善に日々努めています。

(2-4-1) 会員情報誌「BACK UP」11、12、13号を発行

中国NBCの活動内容を会員のみなさまに知っていただくとともに、会員様以外に対しては活動の紹介ツールとなることを目的に発行しております。平成30年1月に発行した13号では、会長の年頭挨拶・各支部活動および受託事業「魅力発信グランプリ」の実施結果報告のほか、会員企業様の社員インタビューを掲載しました。

(2-4-2) ホームページ、facebook、Instagram等での情報発信

会員のみなさまのお役に立つと思われる情報につきましては、適時、メール配信等で情報提供に努めています。また、ホームページ上でアンケートを実施し、協議会活動に活かしております。(ex. 中国地方の魅力に関するアンケート、催事についてのアンケート)。

今後も、会員様のみならず一般の方からも見てもらえるようなホームページを目指し、工夫していきます。

中国NBCfacebook⇒ <https://www.facebook.com/cnbc.kaiin/>

中国NBCInstagram ⇒ https://www.instagram.com/c_nbc/

(2-4-3) 会員様向けメールマガジン発行日を変更

会員の皆様の「メールの配信数が多い」というご要望を受け、平成30年2月から会員様からの告知依頼情報に関しては、毎月2回（第1水曜日および第3水曜日）にまとめてメルマガ形式で「メルマガ版ニュービジネスのタネ」として配信する事にしました。中国NBCからの提供情報は、引き続き適宜お送りしています。

メルマガ情報は、ホームページでも確認できます。⇒ <http://www.cnbc.or.jp/mailmag>

(2-4-4) 一般財団法人ひろぎん経済研究所の会員様向け月刊誌『カレントひろしま』でのPR

平成29年度に、月刊6,500部を発行する『カレントひろしま』で過去のニュービジネス大賞受賞企業様を、毎月、合計17社紹介して頂きました。掲載記事の内容は、ニュービジネス大賞に応募された経緯、これまでのご苦労、これからの方針などです。素晴らしい事業活動をされている会員様の事例を広く世間の方にも知って頂こうと考えました。平成30年度は、今年度開催しました第1回中国地域女性ビジネスプランコンテストの受賞企業ならびに第26回中国地域ニュービジネス大賞受賞企業の中から何社かについて掲載して頂く予定です。

(3) ネットワーク拡大支援

(3-1) 支部活性化・交流事業

【各支部での開催実績】

支部	日 程	テーマ	参加数
島根	平成 29 年 7 月 25 日	■支部イベント『情報共有会&講演会』 場 所：くにびきメッセ 第1部：『中国 NBC 活動情報共有会』 第2部：講演会 『行動こそ真実』 (株)アイグラン 代表取締役 重道 泰造 氏	70名
	平成 29 年 11 月 27 日	■支部イベント『講演会『島根の地域発展に対する課題と提言』』 場 所：くにびきメッセ 第1部：『おもてなしの国日本における企業経営論 ～ 人口減少、低生産性、物価・賃金を考える～』 日本銀行金融機構局 審議役 木村 武 氏 第2部：パネルディスカッション モデレータ：島根大学地域未来戦略センター長 松崎 貴 氏 パネラー：日本銀行金融機構局審議役 木村 武 氏 島根県庁商工労働部次長 太田 史朗 氏 株式会社長岡塗装店常務取締役 古志野 純子 氏	124名
鳥取	平成 29 年 11 月 17 日	■支部&女性部会共催イベント『中国経済産業局情報提供会& 第 25 回中国地域ニュービジネス大賞鳥取県受賞企業講演会』 場 所：ANA クラウンプラザホテル米子 第1部：『中国 NBC 活動報告会』 第2部：『中国地域ニュービジネス大賞鳥取県受賞企業講演会』 (株)エッグ 代表取締役 高下 士良 氏 (株)ニシウラ 代表取締役 西浦 伸忠 氏 第3部：『中国経済産業局情報提供会』 中国経済産業局産業部経営支援課長 神田 恒秀 氏	61名
	平成 30 年 3 月 23 日	■支部&女性部共催イベント『鳥取起業フォーラム 2018』 場 所：ホテルニューオータニ鳥取 第1部：『アイリストグループ会長 大山健太郎氏講演会』 アイリストオーヤマ(株) 代表取締役社長 大山 健太郎 氏 第2部：『鳥取ビジネスプランコンテスト 2017 表彰式』	139名
岡山	平成29年 6月19日	■支部イベント『意見交換会』 『類人猿性格分類セミナー』 (株)YPYエデュケーション 土居 祐介 氏 場 所：岡山理科大	52名
	10月13日 ～14日	■企業見学と石見銀山訪問 場 所：中村ブレイス株式会社 石見銀山坑道など	12名

支部	日 程	テ マ	参 加 数
岡山	11月13日	■中国NB大賞受賞企業講演会&中国経済産業局情報提供会 場 所：ピュアリティまきび 第1部：『音素材マーケットプレイス “オーディオストック”』 株クレオフーガ 代表取締役社長 西尾 周一郎 氏 第2部：『利用者・管理者に優しい次世代型コインパーキング』 株英田エジニアリング 代表取締役社長 万殿 貴志 氏 第3部：中国経済産業局情報提供会 中国経游産業局産業部経営支援課長 神田 恒秀 氏	58名
備後	5月17日	■支部イベント《講演会・異業種交流会》 『第1回 びんご5：01』 場所：RiM・ふくやま	58名
	平成30年 1月27日	■支部イベント《講演会・異業種交流会》 『第2回 びんご5：01』 場所：RiM・ふくやま	54名
	平成30年 2月16日	■支部イベント《会員限定・大学生との交流会》 『社長と語ろう』 場 所：福山市立大学 食堂	21名
広島	平成29年7月10 日～平成30年3 月6日 全8回	■支部イベント《勉強会》 『経営者セミナー』・・・情報産業協会協催 場 所：第3 ウエノヤビル 6F他 講 師：(株)データホライゾン 代表取締役社長 内海 良夫 氏	153名
	5月18、19、 22、23日	■からくり改善®くふう展観察とマツダミュージアム見学 場 所：マツダ(株)本社工場	44名
	8月3日	■支部イベント《会員限定 体感型セミナー》 『シーカヤックで渡る宮島』 場 所：宮島	7名
	11月29日	■支部イベント《体感型セミナー》 『禅と庭のミュージアム神勝寺で瞑想、座禅、写経体験!』 場 所：神勝寺(福山)	21名
	平成30年 3月2日	■支部・女性部会共催イベント 場 所：リーガホテル広島 『150年ぶりの大転換期における“地方からのニュービジネス』 株ドリーム・アーツ 代表取締役社長 山本 孝昭 氏 オタフクホールディングス(株) 代表取締役社長 佐々木 茂喜 氏	118名
山口	平成29年 5月 25・26・27日	■萩観察ツアー（東京N B C主催・山口・岡山支部女性部会共同） 場 所：明倫学舎・松陰神社・萩しーまーと（道の駅）・ 井上商店油谷工場・元乃隅稻成神社 等	30名

支部	日 程	テーマ	参加数
山口	6月23日	■支部総会・講演会・情報共有会 場 所：新山口ターミナルホテル 講 師：(一社) I S D個性心理学協会 藤井 真一郎 氏	22名

◎女性部会活動

支部	日 程	テーマ
鳥取	2月9日	■人事・採用担当者オフサイトミーティング 場 所：アクティ鳥取 講 師：株式会社 LASSIC 代表取締役副社長 西尾 知宏 氏
	3月23日	■支部&女性部共催イベント『鳥取起業フォーラム 2018』 場所：ホテルニューオータニ鳥取 第1部：『アイリスグループ会長 大山健太郎氏講演会』 アイリスオーヤマ(株) 代表取締役社長 大山 健太郎 氏 第2部：『鳥取ビジネスプランコンテスト 2017 表彰式』
岡山	4月19日	■ブランディングの基礎セミナー 場 所：岡山市民会館 305号室 講 師：上野 律子 氏
	5月25日～27日	■山口県視察ツアー 訪問地：山口県萩市・長門市 東京 NBC の方々と交流
	6月14日	■ビジネスに活かすインスタグラム現状と基本 場 所：国際交流センター5F 講 師：平山 治 氏
	8月11日	■ガールスカウト50周年記念行事 場 所：岡山ふれあいセンター
	8月30日	■倉敷成人病センター訪問 内 容：アパレルメーカー「ファミリア」とのコラボについて
	9月13日	■ペットの高齢化対策とネット通販で急成長した理由について 場 所：ダイヤ工業本社 講 師：アムリットDC社長 黒田 展弘 氏
	10月13日～14日	■企業見学と石見銀山訪問 場 所：中村ブレイス株式会社
	11月8日	■美文字講座&忘年会 場 所：harehare 講 師：渡辺 秀雄 氏
	1月11日～3月16日	■ランチ&招き猫美術館訪問
	3月14日	■ランチ&企業訪問 場 所：株式会社メディシン（福山市野上町3丁目10-17）
広島	4月14日	■交流会「ランチ交流情報交換会」 場 所：(株)ハーストーリィプラス

支部	日 程	テー マ
広島	7月 7日	■交流会「ノルマンカード」の説明とリーディング 場 所: Ururu 講 師: 小方 昌子 氏
	8月 8日	■交流会「(株)harmonie Presents 納涼会」 場 所: (株)harmonie 本社
	10月 10日	■勉強会「広島のニュービジネスの元祖～お好み焼きルーツを学ぶ～」 場 所: Wood Egg (オタフクホールディングス (株))
山口	8月 24日	■山口支部女性部会 (8月例会) 場 所: ルルサス防府 会議室 内 容: 情報共有会
	11月 22日	■山口支部女性部会 (11月例会) 場 所: ルルサス防府 会議室 内 容: 情報共有会
	平成30年 2月 22日	■山口支部女性部会 (2月例会) 場 所: ルルサス防府 会議室 内 容: 次年度活動方針協議・情報共有会



左から 「びんご5:01」、「山口支部総会」、「岡山・島根NB受賞企業&石見銀山視察会」



左から 「島根支部地域振興討論会」、「広島支部トークセッション」、「宮島シーカヤック体験会」

※写真は支部催事の一例です

(4) 中国地域ニュービジネス大賞受賞企業同士のコラボレーション事例紹介 共同開発製品が福祉機器コンテスト2017で『優秀賞』を受賞

会員企業で中国地域ニュービジネス大賞表彰制度の受賞企業である(株)ニシウラさん（西浦伸忠社長、鳥取市）と(株)コーポレーションパールスターさん（新宅光男社長、東広島市）が共同で福祉製品「ふわふわフィットパンツ」を開発されました（老人保健施設ゆうとぴあ施設長 井上 貴央 鳥取大学名誉教授と県立広島大学保健福祉学部看護学科 井上 誠 准教授との共同研究）。

この製品は一般社団法人日本リハビリテーション工学協会主催「福祉機器コンテスト2017」で高く評価され、『優秀賞』を受賞されました。受賞企業同士のコラボレーションによる快挙です。

(5) 新事業創出支援

バイオマス・ファインケミカルズ・リファイナリー産業創出事業

平成22年度～25年度に中国経済産業局の補助事業として、当協議会を中心にバイオマス（木材・竹材およびあさり・カキ等水産系バイオマス）の利活用による新事業創出事業を実施しました。その成果を踏まえて、本年度まで引き続き関連産業の事業化推進を継続実施しています。

本年度は地域内外の関連事業者、大学・公設試験場等の連携による具体的な事業化がさらに推進されました。

(5-1) バンブー・リファイナリー産業創出事業

① 放置竹林の整備事業

- ・「広島県森林・山村多面的機能発揮対策補助事業」等の支援を受けて、呉市・安芸高田市・竹原市・廿日市市等の各団体（前記「スマート・ケミカルリファイナリー協議会」参加会員）が連携して、放置竹林の整備を実施しました。

② 現地竹林の伐採・整備状況

- ・現地竹林の伐採・整備状況について自治体から現地調査が実施されました。

(5-2) バイオマス・リファイナリー技術情報交換会

① (一社) ニュービジネス協議会の会議室で技術情報交換会を開催

- ・開催月：平成29年6、7、9、10月、平成30年3月。合計9回開催。
- ・会議への延べ出席人数：65人。
- ・会議内容

竹資源の有効活用事業化計画…広島県、鳥取県の企業連携体制構築を推進
食品系廃棄物からの活性炭製造事業化…広島県、岡山県の企業連携を推進

② 木質系バイオマスの難燃化技術に関する打合せを実施

- ・セルロースナノファイバーの活用について
…広島県、岡山県企業連携推進

③ 広島県安芸高田市で推進中の新規事業化推進の支援

- ・伸びきったタケノコを原料とする「食品製造」について。
- ・広島県、鳥取県の企業・NPO連携による事業化連携を推進
「竹スルメ」製造事業のOEMによる連携を計画中

④ 中国経済産業局電子広報誌「ちゅうごく地域ナビ」への投稿

- ・「セルロースナノファイバーを活用した消臭剤」(H30年2月号)

以上